

登録コード	A3590311	開講年度	2026				
授業科目	科学英語					担当教員	中村 浩蔵
英文授業名	Scientific English						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				食品分子工学に関する専門的な知識や研究能力を修得するための英語能力を身に着ける。		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って食品分子工学に関する問題をとらえ解決する能力を修得するための英語能力を身に着ける。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				食品分子工学に関する専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得するための英語能力を身に着ける。		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って食品分子工学に関する様々な課題をとらえ解決する能力を修得するための英語能力を身に着ける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	英語学術論文を読解し，その内容をプレゼンテーション形式で説明する。						
(5)授業計画	英文読解とプレゼンテーション 1．学術データベースを用いた英語論文の検索（目標の設定） 2．検索でリストアップされた候補論文の絞り込み（英文の速読） 3．電子ジャーナルの活用 4．選択した論文の全訳（英文の熟読） 5．選択した論文の全訳（英文の熟読） 6．論文内容の理解（文章の論理構成の理解，引用文献の読解） 7．プレゼンテーション資料の作成（英文読解により得られた知識の活用） 8．論文内容のプレゼンテーションと討論（到達度の確認） なお、授業の振り返りとして、最終回の授業に授業アンケートを実施します。						
(6)自主学習の指針	自主学習は必要不可欠です。興味を持って前向きに取り組んでください。						
(7)成績評価の基準	プレゼンテーションと英文論文読解力の出来						
(8)事前事後学習の内容	授業計画に従い、必要な資料をについて予習・復習すること。						
(9)テストやレポートの予定	必要に応じてテストやレポートを求めます。						
(10)成績評価の方法	成績評価の基準に挙げた内容に対する取り組みの成果を総合的に判断して評価する。 評価基準： 秀：90点以上（授業の達成目標の水準からみて卓越している） 優：80～89点（授業の達成目標の水準よりかなり上にある） 良：70～79点（授業の達成目標の水準よりやや上にある） 可：60～69点（授業の達成目標の水準にある） 不可（D）：50～59点（授業の達成目標の水準よりやや下にある） 不可（E）：49点以下（授業の達成目標の水準よりかなり下にある）						
(11)質問、相談への対応および連絡先	・研究室において随時対応します。 食品分子工学研究室（C棟2階） e-mail: knakamu@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	対象学生：生命機能科学コース3年生．研究室配属後の履修になります．開講形式は研究室ごとに異なるので注意してください．						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						